

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

東大阪市立布施中学校（大阪府）

【GIGA×指導の工夫・改善】各教科における自由進度学習の可能性

<考察>

・クラスメイトが何に取り組み、どこでつまづいているのかを、生徒同士でも把握できるようにクラウドを活用した他者参照を取り入れながら生徒自身が自己調整し、学びを進められることをめざしている。特に、授業のはじめに「学習の流れ」を提示し、本時のルーブリックで目標を示すことで、学習の見通しを持たせる。また、内容の振り返りだけでなく、本時の「学び方」に対する振り返りも重視している。

・生徒への介入のタイミングとしては、スプレッドシートに「HELP」「ひとりでは学びを進められません」といったお助けタブを設け、支援が必要な生徒を教員が優先的にサポートできる仕組みを整えている。この仕組みは授業だけでなく、単元テストや到達度テストの振り返りにも活用しており、生徒たちは教職員からのフィードバックを次の学びにつなげている。生徒たちは、「誰とどのように学ぶか」を自己選択することで、自己調整力が養われ、多様な学び方が生まれている。

・一斉授業のようなコンテンツベースの学習から、資質・能力を育成するコンピテンシーベースの学びへと移行し、自ら学びを進める生徒が増えてきている。

「学習の手引き」の提示 自分に合った進捗で学習を進める

「なぜ」という疑問を常に持て、取り組むこと！

——1時間の進め方——

- ① CanDoリストを確認
- ② 授業のつづいた力や目標設定（具体的な目標設定を行う）
- ③ 自分のやり方で勉強を進めていく（いろんな工夫をしてみよう！）
- ④ 単元計画表に振り返りを記入（授業時間内に書き進めるように計画すること。（テスト1.9分以内から））
- ⑤ 次回の授業のつづいた力や目標を書きおく。（可能な限り）
- ⑥ 進めるところまでCanDoリストを更新する（授業内で随時更新すると良い）

※全員学習プリント1～3は提出してください。

評価 学びに向かう力

A・・・内容に関する動画作成、スライド作成、カブトなど（自分で切り取り出す）

B・・・Quena、ワーク、自分で買った参考書、力試し問題など（用意されたもので取り）

・教える（教えること、教えられることだけでなく）

・授業中の取り組み

・振り返りシート

教えることも楽しい、交流して行きましょう！

2学期到達度テスト準備2～
Google スプレッドシート

「学び方」も自分で決める



自分で設定しためあてや進捗状況等に応じて、各自が学びを進める様子

テスト時間への振り返り（ノートへの書き込み等、確認しながら進め進んでいくこと）

学習者	学習内容	学習状況	学習時間	学習成果
学習者1	学習内容1	学習状況1	学習時間1	学習成果1
学習者2	学習内容2	学習状況2	学習時間2	学習成果2
学習者3	学習内容3	学習状況3	学習時間3	学習成果3
学習者4	学習内容4	学習状況4	学習時間4	学習成果4
学習者5	学習内容5	学習状況5	学習時間5	学習成果5
学習者6	学習内容6	学習状況6	学習時間6	学習成果6
学習者7	学習内容7	学習状況7	学習時間7	学習成果7
学習者8	学習内容8	学習状況8	学習時間8	学習成果8
学習者9	学習内容9	学習状況9	学習時間9	学習成果9
学習者10	学習内容10	学習状況10	学習時間10	学習成果10

この2人のサポートへ行く

スプレッドシートに「HELP」、「ひとりでは学びを進められません」などのお助けタブを作成している。教員は、そのタブを示している生徒を中心にサポート。



学校で統一している学習の進め方

ここまで行かなくても学校で統一できそうなこと

① 授業の始まる前に進め方だけをタブレット提示（これまでの黒板から打破）

② 学び方を自己選択、自己調整 ※先生の力量・個性に任せる

③ 振り返りの共有